

ECOツーリズム



85号
2020. Summer
Vol.22 No.3

活動報告 2019

(2019年4月1日より2020年3月31日までの活動)

JESのミッション

- 『人づくり』人材養成事業
- 『機運づくり』有識者派遣
- 『ネットワークづくり』地域や企業などの連携
- 『環境づくり』実践者サポート



日本エコツーリズム協会の概要 JAPAN ECOTOURISM SOCIETY

会員制度

一般社団法人日本エコツーリズム協会 (JES) の活動に賛同し、エコツーリズムの普及・推進に一緒に取り組む法人会員・個人会員を募集しています。

会員の種類	年会費
法人会員	50,000円 (入会金 50,000円)
個人正会員	10,000円 (入会金 1,000円)
学生会員	2,000円 (入会金免除)

会員種別の特典等については弊協会 HP をご覧ください。



役員

- 名誉会長** 愛知和男 (元環境庁長官、元衆議院議員、日本介護事業連合会会長)
- 会長** 田川博己 (株式会社 JTB 代表取締役会長)
- 副会長** 高梨洋一郎 (株式会社 ツーリズムワールド 代表取締役)

【理事および運営役員】

- <地域の団体、事業者>**
- 伊藤延廣 (NPO 法人 裏磐梯エコツーリズム協会 理事)
 - 江崎貴久 (有限会社 オズ海島遊民くらぶ 代表取締役)
 - 楠部真也 (株式会社 ビッキオ 代表取締役)
 - 坂元英徳 (一般社団法人 地域観光研究所 代表理事)
 - 新谷雅徳 (一般社団法人 エコロジック 代表理事)
 - 高峰博保 (株式会社 ふなの森 代表取締役)
 - 開 梨香 (株式会社 カルディバイト 代表取締役)
 - 松田光輝 (株式会社 知床ネイチャーオフィス 代表取締役)

<地域の団体、事業者>

- 松本 毅 (有限会社 屋久島野外活動総合センター 代表取締役)
- 吉見精二 (一般社団法人 エコツーリズム協会 しが 企画理事)

<観光関連>

- 阿部宗広 (一般財団法人 自然公園財団 専務理事)
- 有野一馬 (一社 全国旅行業協会 専務理事)
- 越智良典 (一社 日本旅行業協会 事務局長)
- 久保田稷 (公益財団法人 日本観光振興協会 副理事長)
- 河本利夫 (一般財団法人 休暇村協会 理事長)
- 田島幸郎 (一般社団法人 日本エコツーリズム協会 事務局長・理事)
- 立谷光太郎 (株式会社 博報堂 顧問)
- 丸山隆司 (KNT-CT ホールディングス株式会社 代表取締役会長)
- 原 優二 (株式会社 風の旅行社 代表取締役)
- 二木 真 (日本航空株式会社 宣伝部 部長)
- 堀内光一郎 (富士急行株式会社 代表取締役社長)
- 堀坂明弘 (株式会社 日本旅行 代表取締役社長)
- 山田桂一郎 (JTIC.SWISS 代表)

<研究者>

- 石森秀三 (一般財団法人 北海道歴史文化財団 北海道博物館館長)
- 海津 ゆりえ (文教大学 国際学部 教授)
- 小林寛子 (東海大学 経営学部 教授)
- 下村彰男 (國學院大学 研究開発推進機構・新学部設置準備室 教授)
- 下休場千秋 (北海道大学 観光学 高等研究センター 教授)
- 辻野啓一 (流通経済大学 社会学部 国際観光学 特任教授)
- 橋本俊哉 (立教大学 観光学部 教授)
- 真板昭夫 (株式会社 未来政策研究所 顧問)
- 安田巨宏 (創造開発研究所 フェロー・主席研究員)
- 渡邊綱男 (一般財団法人 自然環境研究センター 上級研究員)

(2020年5月末時点・敬称略・五十音順)

法人会員 企業・団体名

NPO 法人 赤目四十八滝渓谷保勝会 / 奄美群島エコツーリズム推進協議会 / 岩手県二戸市 / 合資会社 浦内川観光 / ANA セールズ株式会社 / 一般社団法人 エコロジック / 愛媛県 / 愛媛ダイビングセンター / NPO 法人 奥入瀬自然観光資源研究会 / 一般社団法人 小笠原村観光協会 / NPO 法人 おきなわ環境クラブ / 沖縄県環境部 自然保護・緑化推進課 / 株式会社 風の旅行社 / 環白神エコツーリズム推進協議会 / 一般財団法人 休暇村協会 / 株式会社 グローバルユースビューロー / 小岩井農牧株式会社 / 株式会社 コスモスインシア / 株式会社 五千尺 / サービス・ツーリズム産業労働組合連合会 / 株式会社 ジェーシービー / 株式会社 JCB トラベル / 一般財団法人 自然公園財団 / 株式会社 JTB / 株式会社 JTB ガイアレック / JTB 協定旅館ホテル連盟 / JTB グループ労働組合連合会 / 株式会社 JTB コミュニケーションデザイン / 株式会社 JTB メディアリテリング / 一般社団法人 全国旅行業協会 / 全日本空輸株式会社 / 大山山麓・日野川流域観光推進協議会 / 谷川岳エコツーリズム推進協議会 / 株式会社 知多半島ナビ / 東京都 / 東京都小笠原村 / 公益財団法人 東京観光財団 / 東武トップツアーズ株式会社 / 鳥取県大山町 / 富山県上市町 / 公益財団法人 名古屋市民休暇村管理公社 / 公益社団法人 日本観光振興協会 / 日本航空株式会社 / 公益財団法人 日本交通公社 / 公益財団法人 日本修学旅行協会 / 公益社団法人 日本ナショナル・トラスト協会 / NPO 法人 日本ヘルスツーリズム振興機構 / 株式会社 日本旅行 / 一般社団法人 日本旅行業協会 / 濃飛乗合自動車株式会社 / 株式会社 博報堂 / 八幡平リゾート株式会社 / ハワイ州観光局 / 東近江市エコツーリズム推進協議会 / 東日本旅客鉄道株式会社 / NPO 法人 飛騨小坂 200 滝 / 株式会社 ビッキオ / 株式会社 フィールド & マウンテン / 福島県北塩原村 / 富士急行株式会社 / ベルトラ株式会社 / 北海道 弟子屈町 / マカオ政府観光局 / Mt.6 / 一般社団法人 松本観光コンベンション協会 / 株式会社 未来政策研究所 / 宮崎県串間市 / 特定非営利活動法人 森のこだま / 株式会社 モンベル / YaH 株式会社 / 公益財団法人 屋久島環境文化財団 / 株式会社 ハヶ岳登山企画 / やったろう de 高島 / 一般財団法人 ロングステイ財団 (2020年5月末時点)

ECOツーリズム Vol.22 No.3 通巻 85号 Summer 2020

発行 一般社団法人日本エコツーリズム協会 Japan Ecotourism Society (JES)
〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-24-9 アイケビル 3 階
TEL. 03-5437-3080 FAX. 03-5437-3081 Email. ecojapan@alles.or.jp
Web. https://ecotourism.gr.jp/
発行日 2020年6月30日
発行人 田川博己 (会長)
編集長 海津ゆりえ (運営役員)
企画・編集 高梨洋一郎 (副会長) / 高野千鶴 (事務局) / 赤間亜希 (事務局)
デザイン 株式会社アートポスト

表紙写真
上: やったろう de 高島 (インストラクターが素潜りで体験の様子を海中より撮影)
下: 濃飛乗合自動車株式会社 (レールマウンテンバイクガッタンゴ。当社の着地型旅行商品「気ままなバス旅」の中で一番人気のツアーで、現在は年間約 1,000 名の方にご利用いただいております。この写真は、このツアーを設定するために当社の社員と下見に行った時の記念すべき写真です。)

日本エコツーリズム協会 (JES) のミッション

JESの取り組み

エコツーリズムを仕組みとして地域に広め、定着させるために

JESはエコツーリズムの普及を目指し多岐にわたる事業を展開しています。
本紙ではJESの取り組みを大きく下図のように4つに分けて2019年度の活動を紹介します。

JESの取り組み 4つのミッション

1 人づくり (人材養成事業)

ガイドを養成することを柱としつつ、行政や団体など幅広い層への理解浸透を図り、エコツーリズム推進の担い手を育てる。



2 機運づくり (有識者派遣)

地域の実情にあった有識者を要望に応じて派遣し、エコツーリズム推進の機運を醸成する。



3 ネットワークづくり (地域や企業などの連携)

エコツーリズム推進に取り組む地域と、SDG s等に取り組む企業らが交流する場を設け、連携を後押しする。



4 環境づくり (実践者サポート)

優れた取り組みを表彰または推奨したり、エコツアー向け保険の提供、一般への普及啓発、消費者ニーズの把握調査など、実践のための環境を整える。



2020年度の方針



一般社団法人日本エコツーリズム協会
会長 田川博己

2019年度は、新たな時代に向けた体制整備の充実を軸とするともに協会の求心力と遠心力の強化を果たすべく、航空・旅行業界を中心に協会の考え方を共有することを活動の柱に据えて展開した1年でした。
特に、12月に開催した20周年記念フォーラムは、その集大成として延べ400名を超える方々にご参加いただき、協会の今までの20年の歩みを振り返りながら、これからのエコツーリズムの目指すべき方向について活発な議論を行い、多くの賛同を得て「大会宣言」を採択しました。

2020年を迎え新たな10年が始まりましたが、新型コロナウイルスの感染症の拡大や気候変動による異常気象の多発など、地球の環境課題に起因する事象が世界規模で蔓延しています。

一方で、国際市場は国連の目標のSDGs達成に向けて本格的な取り組みを始めています。この市場の動きや要望に遅れることなく、本協会としてはエコツーリズムによる環境課題への取り組みを「見える化」することで貢献度を周知徹底していくことが重要であると考えています。また、実業の世界においても、エコツーリズム推進という志を同じくした様々な企業が参

加した新たな枠組みが誕生しつつあり、これらの動きに対して協会としても一層の発言権を得るよう支援を強化してまいります。

これらの現状を踏まえ、今年度は、これまでの活動や制度の一層の推進に加え、新たなパートナーとの連携強化など、新時代へ向けた普及啓発に関して協会一丸となった取り組みを展開してまいります。また、協会の活動をより持続可能なものとするため、学生の育成・教育に力点をおき次世代への責任も果たしていく所存です。

観光は本来、大きな力を持っています。国内においては延べ6億人の人の動きや約28兆円の直接経済効果など大きな武器があります。

これらの力をベースに、感染症収束後に展開される各種ツーリズムキャンペーンなどを積極的に活用し、日本型エコツーリズムによる地域振興や環境保全へ向け取り組みを深耕させ、併せてSDGsの推進にも貢献してまいります。

国際的な大きな目標である「持続可能な社会」を実現するための行動を通して、真に日本の生活と文化の向上に資する協会として認められるよう活動してまいります。

JESの目的・沿革

日本エコツーリズム協会 (Japan Ecotourism Society, JES) は、エコツーリズムの理念を国内に普及し、一人でも多くのエコツーリストを育てることを目的に1998年に設立されました。

目的

- ・ エコツーリズムの普及促進
- ・ 地域振興、地域と共に創る持続可能な観光の促進
- ・ 観光による環境と文化への社会的貢献



沿革

- 1997年9月 エコツーリズム推進協議会設立発起人会開催
- 1998年3月 エコツーリズム推進協議会 (JES) 設立総会開催
- 2002年7月 エコツーリズムの広がりとともに「日本エコツーリズム協会」へと改名
- 2003年2月 特定非営利活動法人 (NPO 法人) として内閣府より許可を得る
- 2009年4月 ジェイアイ傷害火災保険の代理店としてエコツアー向け保険販売開始
- 2013年2月 東京都知事登録旅行業 第2-6622号登録
- 2018年10月 一般社団法人日本エコツーリズム協会設立

講習会参加者の感想

長野県富士見町

- 良い点だけでなく、課題についてもざっくばらんに話して頂き、考えさせられる3日間でした。また参加者も多様で楽しかったです。
- 登山ガイドをしているので登山のガイドの中でより深い自然、歴史、文化の話ができたかと思っている。本などで得た知識をどのように伝えていくかが難しいと思っている。



長野県霧ヶ峰

- ガイドの仕事の経済的側面は今まで教えてもらってないので参考になりました。経済的自立がないと良質なガイドは育たないですね。
- 内容には満足しているが、これから今回の研修内容を理解していない同業者との現実にもどることになる。彼らを説得し、理解を得るのがこれからの課題である。



奄美群島

- プログラムをどのように構成するか、リスクマネジメントの再認識、法律に関する事など勉強になりました。
- ガイドだけでなく、地域の方々と協働して保全と利用、持続できる仕組みをつくりたい。



2019年度は長野県富士見町、同じく長野県の霧ヶ峰、鹿児島県の奄美群島にて、基本カリキュラムに沿った講習会を開催しました。
富士見町は2回目の開催となり、2020年度はスキルアップ編を開催する予定です。
霧ヶ峰での開催は長野県自然保護課からの受託で、県の「信州ネイチャーセンター基本方針」に基づいて講習会が行われました。
奄美群島での講習会は3回目の開催で「奄美群島エコツアーガイド認定制度」に基づいており、自然、歴史、ガイド技術、安全管理など幅広いカリキュラムがある中で、ガイド技術の部分をJESにて担当しています。富士見町と霧ヶ峰の講習会の対象者はガイドに興味・関心のある方からガイド経験者まで幅広く、一方、奄美群島はガイド経験者のみを対象としました。

開催概要

開催地	開催日	参加者数	
長野県富士見町	10月19～21日	24名	
長野県霧ヶ峰	10月25～27日	29名	
鹿児島県	喜界島	11月9～10日	3名
	奄美大島	11月11～12日	13名
	与論島	11月14～15日	6名



基本カリキュラム

	時間	内容
1日目	12:30	30 受付開始
	13:00	15 開会式 講師紹介、講習会の目的など
	13:15	50 エコツアーリズム概論
	14:15	50 ガイド技術
	15:15	120 コミュニケーション・ワークショップ
	17:15	10 翌日の案内
2日目	17:30	90 交流会
	9:00	50 環境保全の考え方と仕組み
	10:00	40 自然解説の組立て
	10:50	60 解説の方法・ワークショップ
	11:50	60 昼食・休憩
	12:50	120 解説の方法・ワークショップ(つづき)
	15:00	60 プログラムの企画立案
	16:10	50 リスクマネジメント
	17:10	50 エコツアーリズムに関わる法律・規制等
	18:00	10 翌日の案内
3日目	9:00	90 エコツアーの市場と商品化
	10:40	120 エコツアーリズムの実際・トークセッション
	12:40	15 閉会式 主催者あいさつ、全体記念写真

【基本編】ガイド養成講習会

そういった思いから講師陣はガイドを業とし第一線の現場で活躍する人たちです。知床や尾瀬、屋久島、熊野古道など自然豊かな地域から里山、里海まで幅広く、地域の背景にあわせた人選が可能です。
この基本カリキュラムをもとに、私たちが目指すガイド像の育成に向け、地域の実情にあわせた講習会を開催しています。目指すガイド像に対する私たちのこだわりは、ボランティアガイドを育成することではなく、プログラムを有償で提供し事業として継続的に取り組んでいけるガイドです。

第一線で活躍する講師陣 (敬称略)

氏名	所属	地域
安類智仁	NPO 法人 片品・山と森の学校 副代表	群馬県 尾瀬
内山裕紀子	くまの体験企画 代表	三重県 熊野古道
江崎貴久	有限会社オズ 海島遊民くらぶ 代表	三重県 鳥羽市
川村祐一	NPO 法人 奥入瀬自然観光資源研究会 理事・事務局長	青森県 奥入瀬渓流
松田光輝	株式会社 知床ネイチャーオフィス 代表取締役	北海道 知床
松本 毅	有限会社 屋久島野外活動総合センター 代表	鹿児島県 屋久島
山田桂一郎	JTIC.SWISS 代表	スイス ヴェルマツト
山田 拓	株式会社 美ら地球 CEO	岐阜県 飛騨古川
横山昌太郎	森林インストラクター、博士 (農学)	香川県 三豊市

目指すガイド像へのこだわり

講習会の企画

JESでは基本的な講習会として3日間のカリキュラム(次頁の表)を設けています。3日間といっても、1日目は午後スタートで2日目は終日、3日目は午前中で終了というスタイルです。

目指すガイド像

- ① お客様に、地域の自然、文化、歴史を深い感動と共に伝えられる人材
- ② ボランティアではなく、有償で提供できる人材
- ③ ガイドとしての責任を認識し、安全管理や法令遵守をできる人材
- ④ フィールドを適正な利用に導く担い手

エコツーリズムの推進において地域の魅力を伝えるガイドは大きな役割を担っています。観光客と直に接し、旅先で長い時間を共にするガイドは、観光客の地域に対する満足度を高める鍵を握っています。さらに自然資源に新たな価値を加え、資源の保全と利用の両立を図る担い手としても期待されています。

JESでは2005年からガイドを育成するための講習会を、基本カリキュラムをもとに各地からの要望を受けて開催してきました。これまでの講習会の修了者は約1400人です。本項では2019年度に実施した講習会をもとに、内容や講師陣、開催実績、参加者の声などを紹介します。

地域の实情に沿ってカスタマイズ

地域によっては基本編を開催した後スキルアップ編と題して地域の課題を踏まえた応用編を開催したり、ガイドをアドバイザーとして派遣し既存プログラムの磨き上げを組み合わせるなど多様な形があります。ここでは基本編、応用編、総合編という順で地域にあつた形、組み合わせでのガイド養成事業をレポートします。



【基本編】

基本カリキュラムに沿って開催

【応用編】

地域の課題を踏まえてカリキュラムを新構築

【総合編】

アドバイザー派遣、勉強会等を組み合わせ開催

1 日本エコツーリズム協会 (JES) のミッション 人づくり

ガイドの養成から商品造成までをサポート

2019年、JESは株式会社JTB 交流創造事業部と連携し、豊かな自然が広がる東京の多摩地域及び島しょ地域への誘客に向けた旅行商品(体験コンテンツ)の開発、販売プロモーションを行う「多摩・島しょ地域旅行商品販売促進事業」を実施しました。

本事業の中でJESは、多摩地域、新島、式根島において体験プログラム造成のためのアドバイザー派遣と地域の受け入れ体制づくりを支援するガイド養成および勉強会(講師派遣)を行いました。

アドバイザー派遣では、各地で活躍するガイド事業者をアドバイザーとして派遣し、実際にアクティビティを体験しながら、今後のプログラムの実施や運営に関するアドバイスをいたしました。JESではこれからも旅行会社と連携し、地域でエコツーリズムに取り組む事業者を支援していきたいと考えています。

開催概要

アドバイザー派遣	7月3～4日(新島・式根島) 7月9～10日(多摩)
勉強会	11月14日(新島) 11月8日(多摩)
ガイド養成講習会	2020年1月10～11日(式根島) 12月6～7日(多摩)



アドバイザー派遣でのガイド講師によるアドバイスの例

- 足りない点としては、各プログラムの顧客ターゲットの絞り込みと、ターゲットに合った告知方法だと思われる。ネットエージェントを中心に据えた告知ではなく、参加者からのクチコミを大切に広げてゆき、申込手続きにネットエージェントを活用するといった流れが自然かと感じた。
- 適正な料金をいただくことでより良いお客様が参加されるので、実施する場合には適正な価格での提供を検討したほうがよいと思われる。
- リピーター確保及び自社ツアーの強みやウリを把握していくためにもアンケートの実施・分析を進めてはどうか。アンケートのとり方は、改善のためにできるだけ率直な意見を数値化してとるタイプと、PRに使うために「良かった点」を文章やイラストなどで集める方法もある。

事業パートナーからの声

今回は事業の中で多摩・島しょ地域(新島・式根島)において、複数のアドバイザーを派遣して頂きましたが、特に印象的だった式根島で実施したガイド養成講習会について触れたいと思います。講習会には島外から参加される方もおり、実践的な学びの場であると共に、観光振興に取り組む人々の意見交換の場となりました。活発で実践的な議論が交わされたことが印象的でした。

講師の方々は気さくで、観光振興の実践的なアドバイスから苦労話までざっくばらんに話してくれたことで具体的なヒントを得られた観光事業者の方が多かったです。

エコツーリズムは地域の自然や文化を観光資源として捉え、その魅力を磨き上げることに特長があり、豊かな自然がある多摩・島しょ地域においては観光振興の手法として非常に親和性が高いと感じました。これからも地域を問わず、様々なアドバイザー派遣を通じてご協力を頂きたいと思っております。(株式会社JTB 東京交流創造事業部、澤井萌氏)



東京都・多摩・島しょ地域旅行商品販売促進事業

【総合編 その1】ガイド養成講習会+商品造成サポート

ガイド養成講習会の開催に加え、講師陣のガイドをアドバイザーとして派遣し旅行商品の造成に対して助言を行うなど、地域側のニーズに対応した組み合わせで、東京都の多摩および島しょ地域で事業を実施しました。事業実施においては旅行会社と連携しガイドの養成とあわせて自然資源を活用した旅行商品の企画や造成を目指しました。

【応用編】ガイド養成講習会(地域ごとのテーマを設定)

基本カリキュラムを踏まえ地域の実情にあわせたカリキュラムを新たに作成して青森県で開催しました。

青森県・自然公園エコツアーガイド等スキルアップ研修会の開催

ガイド経験者を対象にルールやマナー違反等の課題に対応できるガイドを養成

青森県では県自然保護課主催によるエコツアーガイド養成のための研修会が過去2年にわたり開催され、JESではそれを受託してきました。

今回のスキルアップ研修会は、青森県内の自然公園で生じているルールやマナー違反等の課題に対応できるガイドを養成することを目的としていました。

そこで、自然公園を日々フィールドとして活動しているガイドらを、適正な利用に導くための担い手として育てるために、既にガイドとして活動している人を対象に研修会を開催しました。

研修会の内容は、利用のルールや異文化理解、インバウンドならではのリスクマネジメント、フィールドを適正な利用に導くための地域の体制等について講義やワークショップ形式で実施しました。ワークショップでは現在問題となっていることや、問題への対応策案、それを実行に移す上での課題などを出し合いました。

様々な対応策案があげられましたが、全てにおいて共通していた課題は対応策を話し合い実行に移す組織、場が無いということでした。同じような問題、課題は他の地域でも起きています。今回は奥入瀬渓流での開催でしたが、次は会場をかえて研修会を開催し、話し合う場の形成に向けた歩みとなり、他の地域のモデルになることを目指していきたいと考えています。

開催概要

会場：奥入瀬渓流館

第1回(9月1日)	日本の自然公園制度について学ぶ
講師：横山昌太郎氏 (森林インストラクター、博士(農学))	
第2回(9月13日)	多様な文化的背景の違いを理解する
講師：湯山智美氏 (一般社団法人富士の国やまなし通訳案内士会)	
第3回(9月14日)	適正な利用に導くための地域の体制を考える
講師：松田光輝氏 (株)知床ネイチャーオフィス代表取締役)	

ワークショップで出された、フィールドで問題と感じていること

- 利用者が踏み込んでいい場所とダメな場所の境界が曖昧になってしまい、踏み込みエリアがかなり広がってきている。特にインバウンドのお客様が増えてから著しい。
- 夜になると本格的な採集キットを持って、昆虫採集を始める業者がいる。
- きれいな写真を撮りたい一心で木道を外れて植物を踏んだり、写真映えしない枝を折ったりなどの問題がある。
- トレイル沿いに山菜をとりにくる人がおり、ガイドが強く言うようにしたところ、今は道路沿いでは見かけなくなったが、まだカマを持って歩いている人を見かける。



舞台は周防大島でした。瀬戸内海の穏やかな気候と「多島美」がとても印象的でした。4回も通わせていただくと、1回では見えなかった地域の特性や文化が見えるようになりました。このことは、地域で頑張っている方の想いを共有するにはとても大事なことだと実感しました。そして、この共有できた想いを伝えていくのがエコツーリズムだと思います。私自身も大変勉強になりました。

松本毅理事
(屋久島野外活動総合センター代表)

第1回(10月30日)	エコツーリズムってなんだろう エコツーリズムの理念、ガイドの役割について学びます。
第2回(11月28日)	エコツアーを体感しよう エコツアーに参加し、実際のエコツアーの企画やガイドについて学びます。
第3回(12月19日)	地域でエコツーリズムを実践するには 地域での実践事例等を学びます。 ※次回講義までの課題「地元地域でのエコツアー企画書作り」
第4回(2月4日)	プログラムを企画しよう(ワークショップ) エコツーリズムの企画書作成方法を学びます。

山口県自然保護課主催
エコツーリズムガイド養成セミナー

1か月に1回程度のペースで全4回開催。プログラムを企画立案することを最終目標に設定しカリキュラムを構成。各講義に当会の松本毅理事(屋久島野外活動総合センター代表)を派遣しました。

令和元年度の対象地域

コース	参加地域
A	尾瀬国立公園
	箱根ジオパーク
	石川県中能登町石動山
	長野県軽井沢町
	愛知県長久手市
	山陰海岸国立公園鳥取砂丘
B	瀬戸内海国立公園野呂山
	鹿児島県大島郡龍郷町
	静岡県 沼津市・伊豆の国市
	長野県松本市 乗鞍地域
	立山黒部
	和歌山県和歌山市 加太・友ヶ島
	滋賀県米原市
	鹿児島県大島郡大和村

過去の参加地域に対しては、7月にインバウンドに特化した研修会を東京で開催、また、2月には参加希望制でオンライン上でのフォローアップミーティングを実施しまし

インバウンド研修

過去の参加地域に対しては、7月にインバウンドに特化した研修会を東京で開催、また、2月には参加希望制でオンライン上でのフォローアップミーティングを実施しました。

研修後のアドバイザー派遣

研修後のアドバイザー派遣では、各地域に対して、収益向上のために優先的に行うべき取り組みへのアドバイスや、アドバイザーがモニターツアーに参加してのフィードバック、来年度以降の事業計画のアドバイスなどを行いました。また、翌年にもフォローアップアドバイザー派遣が実施されます。



事業の流れ



事業パートナーからの声

人材育成事業の意義

環境省では、訪日外国人国立公園利用者数を2020年までに1000万人とすることを目標として「国立公園満喫プロジェクト」に取り組む自然公園地域や、エコツーリズムに取り組む地域など、自然資源を活用して地域活性化に取り組む地域における持続可能な仕組み構築を目指して人材育成の支援業務を実施しています。

AコースとBコースを設定することで入り口を整理

地域における持続可能な仕組み構築に向け、Aコースではビジターセンターなど拠点施設で働く人を対象に、現場における解説業務（インタープリテーション）のスキルアップをはかり、環境教育の担い手を育成します。Bコースではエコツア事業者などエコツーリズムを活かして地域を盛り上げるためのツアーガイドや地域コーディネーターの能力向上を狙っています。

（環境省自然環境局国立公園課国立公園利用推進室室長 中島尚子氏）



ガイド人材だけでなく、観光協会や行政など事業者をサポートする人材をチームとして育て、持続可能な仕組みとしてのエコツーリズムを地域で推進することを目指し、講習会およびアドバイザー派遣を組み合わせた事業を実施しました。

活動する場によってコースを二つ設け、ビジターセンター等の拠点施設で環境教育を提供するコースと、エコツア事業者と資源の保全を図るコースとに分けています。

【総合編 その2】

持続可能な仕組み構築に向けたキーマンの育成

事業の概要

環境省では「明日の日本を支える観光ビジョン」の10本柱の1つである「国立公園満喫プロジェクト」を進めるため、国立公園をはじめとした自然地域における人材の育成を支援する事業を平成29年度から実施しています。

この事業では、ビジターセンター等の拠点施設のスタッフの育成を対象としたAコースと、エコツアガイドや地域コーディネーターの人材を育成するBコースの2つが設定されており、研修会やアドバイザー派遣等を通して、それぞれの地域や施設における取り組みの計画策定とアドバイスを行います。

Aコースは公益社団法人日本環境教育フォーラム、Bコースを弊会が担当し、共同で運営を行いました。Aコースでは主に、地域におけるインタープリテーションの計画の策定を中心に施設における展示の拡充、プログラムの作成への支援を、Bコースでは、地域における持続可能な仕組みづくりを実現するために、エコツーリズム推進団体の設立や、事業化のためのマーケティングやコンテンツ造成、販売等に対する幅広い支援を行っています。

本事業では、2年間にわたる継続的な支援スキームが設定されています。初年度は那須での集合研修会とその前後

に1回ずつアドバイザー派遣を実施することで、地域の状況に合わせた状況把握から、研修での計画策定、その後の取り組みサポートを行います。次年度はインバウンドの受け入れに特化した講習会（希望制）と1回のアドバイザー派遣が用意されています。

令和元年度の対象地域

令和元年度の募集は8月19日より行われ、計14地域からの応募がありました。本事業で特徴的なのは、参加対象者が個人ではなく、複数の関係者からなる「チーム」（2～3人程度）を想定していることです。施設スタッフやエコツア事業者として働いている人および行政や観光協会など事業者をサポートする側の人で構成されるチームでの応募を求めています。

事前アドバイザー派遣

参加地域に対しては、那須での集合研修の前に専門家によるアドバイザー派遣を実施し、地域の課題把握や整理を行い、本事業で目指す目標の設定や、課題解決に向けたアドバイスを行いました。11月末に実施される集合研修の事

た。各地域に組み込みの進捗状況や成果をヒヤリングの上とりまとめ、あらかじめ参加者に共有、アドバイザーや他地域への相談など情報共有を通して、コミュニケーションの促進、モチベーションの向上、有用な情報の共有と提供を行うことができました。

事業の成果

これまでBコースに参加の各地域においては、エコツーリズム推進協議会の設立、地域におけるガイド団体による協議会の設立、地域DMO主催のインバウンド向け旅行商品のプログラムコンテストへの入選と商品化、研修参加者が中心となって地域での講習会開催、ガイド事業の設立と地域DMOと連携したツアー商品の販売などが具体的な成果となって各地で現れています。今後も各地域への取り組みが実を結ぶように、本事業を通して支援を継続して参ります。

今年度も8月ごろから募集を開始する予定となっております。皆様の地域からのご参加をお待ちしております。

集合研修

集合研修では、1、3日目はA・Bコース共通での内容とし、2日目は各コースに分かれて実施します。研修1日目では主に地域一体となった取り組みの重要性や、エコツーリズムおよびインタープリテーション計画策定の考え方、日本の自然環境の価値と意味等、両コースに必要とされる広範な内容を取り扱いました。

2日目は、各コースに特化した内容としてBコースでは、地域におけるガイドとエコツア事業者、コーディネーターの役割、エコツアのプログラム作りの基本的な考え方、事業運営について、マーケティング、ガイド事業者のためのリスクマネジメント等について講義を行いました。



前には、集合研修参加時の学びの効果を最大限にしていたための準備として動画教材を参加者に共有しています。

動画教材は環境省のホームページ「エコツーリズムのススメ」にて一般公開中



ガイド



楠部 真也
(株式会社ビックオ代表取締役)

【派遣先】 関東運輸局主催「那須ネイチャープログラム造成事業：海外市場向けのプログラム造成講習会」
環境省主催「野生動物観光促進に向けた講習会」

【講師より】 那須ではガイドプログラムを20年間どう売ってきたかをお話させていただきました。これまでの経緯や売り方をどう変化させてきたのかなどマーケティング的なお話が中心でした。環境省ではビックオが実施する自然保護と野生動物を絡めたツアーの相関関係を中心にお話ししました。ただ動物のツアーを行うだけでなく、持続可能にする保護の仕組みを見せる事が重要な事、逆に自然保護の財源確保のためには、ただ自然を守るだけではなく、ツアー等を行う事によってお金を生むという仕組みが必要ではないかという考え方を話しました。

観光



辻野 啓一
流通経済大学社会学部国際観光学科
特任教授

【派遣先】 東京都主催「東京都自然ガイド」認定講習

【講師より】 三宅島の火山噴火が終息し、島民は島に戻って来たが、戻ってきた人数は半分。観光客も激減しました。観光客に戻ってきてもらいたいという思いでこの研修会が開催され、参加者の観光復活に寄せる思いが伝わってきました。三宅島はアカコッコを始めとする野鳥の種類が200種以上の野鳥の聖地です。この魅力をうまく伝えるエコツーガイドの育成を応援したいと思いました。
【その他の派遣先】 地域活性化センター「人材養成塾」、JICA 観光振興とマーケティング研修

ガイド



横山 昌太郎
森林インストラクター
博士 (農学)

【派遣先】 滋賀県主催「エコツーリズム人材育成講座」
檜原村エコツーリズム推進協議会主催「檜原村エコツーリズム人材育成講習会」

【講師より】 滋賀県では「地域資源の活用」をテーマに座学とフィールドワークを担当しました。各地の地域資源の活用事例を紹介しつつ、同じ資源でもツアーのターゲットによって多様な活用方法があることなどをお話しました。檜原村では、観光でも重視されているSNSの活用、特に「フォトジェニック性」について触れ、私が暮らしていた香川県三豊市で実際に起こったインスタ映えからの急激な観光ブームの現状や観光公害などの課題について紹介しました。

ガイド



熊崎 潤

(NPO 法人飛騨小坂 200 滝 事務局長、合同会社 216WORKS (ニジイロワークス) 代表)

【派遣先】 NPO 法人おきなわ環境クラブ主催「第5回おきなわエコツーリズムセミナー」

【講師より】 ご縁をいただきお邪魔したおきなわ環境クラブさまのセミナー。自分史上初の沖縄は滞在時間 24 時間以内の弾丸トリップでした。短い中でもクラブの皆様との交流、そして JICA の研修では中南米の女性ばかりのパワフルな受講者に圧倒されながらも世界のエコツーリズムの広がりにつながりを感じられる時間となりました。
【その他の派遣先】 JICA「熱帯・亜熱帯におけるエコツーリズム企画運営」研修

講師紹介

ガイド



江崎 貴久

(有限会社オズ海島遊民くらぶ
代表取締役)

【派遣先】 日本の森・滝・渚全国協議会主催「全国自然敬愛サミット 2019」 (@山口県光市)

【講師より】 全国の 100 選である森・滝・渚を大切に守り、人々に癒しと感動を未来までつなげていくために、首長の皆さんたちが活発な意見交換を行っておられた姿に感動しました。この資源を壊すことなく活用する事例も交換しながら、全体としてどのような動きが必要なのか、記念講演にとどまらず、その後たっぷり、皆さんと具体的にお話しできたことはとても建設的な時間でした。

観光と地域づくり



安田 亘宏
(創造開発研究所フェロー・主席研究員)

【派遣先】 JICA 沖縄主催「熱帯・亜熱帯におけるエコツーリズム企画・運営」コース

【講師より】 研修生は、ドミニカ、ガボン、インドネシア、ラオス、東ティモールの 5 カ国、7 名。研修生と言っても各国の観光省・開発庁などで要職に就く方々、とても熱心に受講され、多くの質問を受けました。特に、日本型エコツーリズム、里地里山での事例や JES の広範な取り組みに興味を持ってもらいました。

エコツーリズム概論



高橋 光子
(JES 事務局職員)

【派遣先】 中央大学谷下教授ゼミ

【講師より】 エコツーリズムの概要をはじめ近年の動向や JES の活動紹介を行いました。また、二戸市で取り組んでいたエコツーを事例に挙げ、実践までのプロセスなども紹介しました。後半は、質疑応答の時間を設け学生との意見交換を行いました。すでに能登をフィールドに研究している学生や、これから研究をはじめようとする学生たちの間で、エコツーリズムを理解し更に興味が深まったように感じました。

ガイド



松田 光輝

(株式会社知床ネイチャーオフィス代表)

【派遣先】 環境省主催「野生動物観光促進に向けた講習会」

【講師より】 観光資源として野生動物を活用するためには、保護と利活用の調和の取れた仕組みづくりが必要です。モニタリング体制や観察する上でのガイドラインなど、観察対象動物や地域の環境を加味しながら検討しなければなりません。日本は野生動物の宝庫です。種類が豊富だけでなく、固有種や希少種も数多く生息しているので、世界有数の野生動物観光エリアになる資質は十分にあると思いました。

観光



田島 幸郎

(JES 事務局長・理事)

【派遣先】 岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会主催「乗鞍岳エコツーリズム検討部会」

【講師より】 オーバーツーリズムにより大切な地域の自然が侵された経験を持つこの地域が、最終的には全体構想認定を目指しながら、エコツーリズムによる健全な観光発展を地域の観光事業の責任者が団結して目指す姿に、新たな持続可能な地域観光の実現に向けて微力ながら応援していきたいと感じました。
【その他の派遣先】 下呂市エコツーリズム推進協議会、JATA エコツーリズムセミナー

『機運づくり』

研修・講演会等への有識者派遣の実施

エコツーリズムに取り組みたいと考えている地域や団体からの相談や依頼を受け、講師を派遣・紹介しています。
JESには、日本各地で活躍するエコツーガイドや観光事業者、研究者、観光や地域づくりのコンサルタントなど様々な専門家とのネットワークがあり、

地域の特性や観光への取組度合い、またそれぞれの要望に応じて、適した専門家を紹介し機運醸成につながる有識者派遣を実施しています。
ここでは、2019年に実施した有識者派遣と講師のコメントを紹介します。

3 日本エコツーリズム協会 (JES) のミッション ネットワークづくり

「エコツーリズム推進全体構想」認定協議会ネットワーク会議 認定地域と企業の連携を促進

エコツーリズム推進法に基づく「エコツーリズム推進全体構想」の認定数は、2020年5月現在で17件(協議会数は18団体)となっています。昨年度は2件の新規認定があり、着実にエコツーリズムの輪が全国に広がっています。

「エコツーリズム推進全体構想」認定協議会ネットワーク会議は、日本全体のエコツーリズムの推進や認定地域による活動を促進するために環境省とJESの共同で実施しています。この会議では、エコツーリズムの取り組みを進める上での課題や成果を共有し、認定地域間の連携による課題解決などを図るため、2016年度から年1回のペースで開催されています。

今回JESは、この会議の企画運営を担い2020年3月3日に開催される予定でしたが、新型コロナウイルスによる感染拡大防止の観点から一旦中止となりました。

今回の会議では、エコツーリズム大賞で地域と企業の連携した取り組みを表彰する「パートナーシップ賞」が新設されたことも踏まえ、テーマを「地域での取り組みや企業との連携で次のステップへ」と題し、各認定地域と企業の連携を促進するため、地域との連携を望む企業による取り組み発表と意見交換会が予定されていました。

参加する予定だった企業は、ふるさと納税の仕組みと体験型コンテンツ提供する「株式会社ROOTS」、エコツーリズムに特化した旅行商品の造成を行う「株式会社JTBガイアレック」、地方活性化と地方創生の取り組みを各地で行う「日本航空株式会社」の各担当者をお招きする予定でした。

今回は残念ながら中止となってしまいましたが、地域におけるエコツーリズムの発展をさらに加速させるべく、JESでは改めての開催に向けて尽力してまいります。



クラブツーリズム

大川内貴信氏(クラブツーリズム(株) テーマ旅行部 / 名古屋テーマ旅行センター)



昨年の名古屋で開催された商談会の情報により小笠原諸島の新企画を発売します。世界遺産になるには様々な理由がありますが、その理由を実際に行って・見て・知って・学んで・出会って・感動して頂くために橋渡し役である私たちが「文化」「自然」「仲間」などいろいろな角度から味付けを加えました。個性と文化の出会い、五感への刺激、人や仲間とのふれあい、新しい自分の発見、旅を通してこころの豊かさを実感し、未来への思いを育んでいただければ幸いです。唯、無二の地球の宝だからこそ行く価値がある世界遺産の旅に出かけてみてください。

■ツアー紹介

「世界遺産をガイドと歩く」深い知識を楽しむ大人の自然探訪旅(屋久島、小笠原諸島) 申込・問合せ クラブツーリズム株式会社 名古屋テーマ旅行センター TEL: 052-300-0011 E-mail: aruku.nagoya@club-tourism.co.jp (コース番号 F3395-895) [クラブツーリズムあるく名古屋](#) で検索

名鉄観光サービス

中田 岳氏(名鉄観光サービス(株) 国内旅行部)

10/16金 ②4 小笠原諸島「父島・南島・母島」ネイチャーハイキングコース
名鉄観光サービス(株) 国内旅行部
248,000円
名鉄観光サービス(株) 国内旅行部
10月16日発売
小笠原諸島「父島・南島・母島」ネイチャーハイキング
申込・問合せ
名鉄観光サービス(株) 国内旅行部
TEL: 052-582-5005
8月1日より発売開始

■ツアー紹介

10月16日発売
小笠原諸島「父島・南島・母島」ネイチャーハイキング
申込・問合せ
名鉄観光サービス(株) 国内旅行部
TEL: 052-582-5005
8月1日より発売開始



個人的には世界自然遺産のすべての地区に足を踏み入れたことのあるのですが、最新の現地情報や新たなコンテンツの紹介をいただき、大いに勉強させていただきました。特に、商品化が難しいと感じていた「白神山地」は様々なエリアからアクセスできることが再認識でき、新たな可能性を見出すことができました。今回のように、情報の多さだけでなく、コンテンツの質や鮮度にこだわった商談会は旅行商品のプランナーにとっては誠に貴重な機会です。今後も、魅力的な商品造成のためますますのご支援とご協力をお願い致します。

3会場での商談会の参加人数は合計76名、商談件数は計116件でした。商談会に参加した旅行会社の担当者からは世界自然遺産およびエコツーリズムというテーマのもと、新たなツアー造成・企画に向けた効率の良い情報収集の場となったという声がありました。ここでは、今般の商談会を通じて造成・販売につながった3つの旅行商品と担当者の声をご紹介します。



Arttrav Inc.

木村由加子氏 (Arttrav Inc.)



■ツアー紹介

2020 SPECIAL WELLNESS TOUR, SANKARA HOTEL&SPA YAKUSHIMA (インパウンド)
申込・問合せ
Arttrav Inc.
E-mail: rep@arttrav.net



昨年の商談会のおかげで、Sankara Hotel&Spa 屋久島様の企画を進めさせて頂きました。商談では、現地の細やかな最新情報を直接伺え、ありがたかったです。私たちは森林旅行とウエルネスツアーを専門に訪日誘客しています。今年2月に国内誘客も始まりました。新型コロナウイルス終息後、旅行再開の折には、豊かで奥深い自然の中で、お客様に心身を癒していただき、地元の貴重な自然生態系への理解を深めてもらうお手伝いをさせて頂きたいと思っています。

地域と企業をつなぐ取り組み紹介

鳥取県日南町でオオサンショウウオの保護に取り組む団体と、旅行会社のJTBガイアレックをつなぎ、パッケージ商品「オオサンショウウオ生態観察・自然保護の学びと皆生温泉」を造成しました。JCBトラベルとも連携し、JCBカードを所有している層に対して販売しました。



公益財団法人東京観光財団受託事業・世界自然遺産旅行商品商談会の実施

自然環境を保全しながら各地への旅行客誘致へ

JESではエコツーリズム推進に取り組む地域と、旅行会社やSDGs等に取り組む企業らが交流する場を設け、連携を後押ししています。

『ネットワークづくり』 地域や企業などの連携を後押し

イベント「エコツアーカフェ」



お茶を飲みながら気軽な雰囲気各地の魅力を紹介するイベントです。2019年度は富士山で活躍されるエコツアーガイドの方や、ニューカレドニア観光局からおすすめの過ごし方等を紹介いただきました。

調査業務

JES ではエコツーリズムに関する調査を請け負っています。2019年度は以下の二つの調査業務を行いました。

- ・環境省
「自然体験コンテンツにかかる認証制度等海外事例等調査業務」
- ・東京都・近畿日本ツーリスト
「小笠原諸島における外国人旅行者向け施策の検討にかかる企画運営業務」

会報『季刊 ECO ツーリズム』

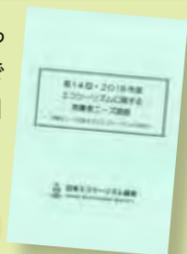


会員向けに年4回発行している会報誌です。エコツーリズムに関連する活動をされている方へのインタビュー記事や、テーマを設定した特集記事、JESの活動報告などを紹介しています。

エコツーリズムに関する
消費者ニーズ調査

2004年から継続して行っているアンケート調査です。アンケートは首都圏在住の500人に対してWebで行っています。

Web アンケート



情報提供・調査

エコツーリズム大賞は、地域においてエコツーリズムに取り組む個人、事業者、自治体などを対象として、その優れた取り組みを表彰するとともに、広く紹介する制度です。JESと環境省の共催で2005年から毎年開催しています。

評価の対象となる取り組み分野は、1. ガイダンスの手法(説明や解説)、2. 環境保全の取り組み、3. 地域活性化の取り組み、4. その他の取り組み(相手の育成や教育機関との連携など)となります。

第15回の節目に、審査員長が東京大学大学院の下村彰男教授から文政大学の津津ゆりえ教授にバトンタッチされました。また、これまでの大賞、優秀賞、特別賞に加え、地域と企業の連携した取り組みを表彰する「パートナーシップ賞」を新たに設けました。

審査の結果、大賞は「鳥羽市エコツーリズム推進協議会」、優秀賞は「あてま森と水辺の教室ポポラ」「上市町観光協会」「濃飛乗合自動車株式会社」の3団体に、特別賞は「NPO法人森のこだま」「株式会社サムライプロデュース」「株式会社五尺 NATURE GUIDE FIVESENSE」「NPO法人東村

観光推進協議会」の4団体に、そしてパートナーシップ賞は「愛媛ダイビングセンター/有限会社エーデル企画/オレンジベイフーズ株式会社」と、「やったろう」高島/ソニーセミコンダクタマニユファクチャリング株式会社/東京大学大学院新領域創成科学研究科准教授 鯉淵幸生氏/エム・エムブリッジ株式会社/日本防蝕工業株式会社/株式会社シーピアーム」の2件が受賞されました。

表彰式は2020年3月2日に実施の予定でしたが、新型コロナウイルスによる感染拡大防止の観点から残念ながら中止となりました。表彰状の授与は環境省各地方環境事務所や郵送により行われました。今年度も9月ごろから募集が始まる予定です。

皆様からのご応募をお待ちしております。



大賞受賞「鳥羽市エコツーリズム推進協議会」
中央左：協議会会長 江崎貴久氏
中央右：鳥羽市市長 中村欣一郎氏

エコツーリズムの優れた取り組みを表彰または推奨する顕彰・推奨事業や、一般への普及啓発、エコツアー向け保険の提供など、実践のための環境を整える取り組みを紹介しています。

『環境づくり』 実践者サポート

顕彰・推奨事業

第15回エコツーリズム大賞

グッドエコツアー(エコツアー推奨制度)

グッドエコツアーは、日本エコツーリズム協会(JES)がおすすめするエコツアー推奨制度です。

エコツーリズムの考え方に基づく一定の基準をクリアしたツアー商品を推奨する仕組みです。それは、ツアーに参加する人が安心して質の高い商品を選択できる環境を作り出すこと、またエコツーリズムの考え方に沿って活動しているエコツアー事業者の支援をする制度でもあります。グッドエコツアーの推奨を受けることで、ロゴマークの使用、推奨ツアーの告知やプロモーションなどに活用いただけます。

JESでは、グッドエコツアーをHPへ掲載、イベントや啓蒙活動などでは優先的に紹介するなど積極的に広報しています。

また、第15回エコツーリズム大賞では受賞団体のツアーをグッドエコツアーに登録しました。広報活動の一環として活用いただくことで、各受賞団体の取り組みが広く認知されると考えています。



富士登山学校ごうりき



休暇村竹野海岸



エコツアー向け保険

JESではジェイアイ傷害火災保険株式会社の保険代理店として、エコツアー向けの保険(普通傷害保険、国内旅行保険、賠償責任保険)を会員対象に扱っています。

普通傷害保険と国内旅行保険はエコツアー参加者のお怪我等を補償する保険で、例えばトレッキングの途中で滑り怪我をした場合や、バーベキューでの火傷など、治療のための通院や入院、または死亡・後遺障害に対して補償するものです。

賠償責任保険はエコツアーの主催者向けの補償で、例えばガイドの誘導ミスによりツアー参加者が将棋倒しになり負傷したなど、主催者(被保険者)が法律上の損害賠償責任を負った場合に被る損害を補償するものです。

保険代理店業務は2009年から開始し、2019年度は139団体、262件の契約を扱っています。年間包括契約であること、個人での契約や小規模からの契約が可能なおかげで皆様は好評をいただいています。

皆様の危機管理対策としてご活用いただければ幸いです。

エコツアー向け保険契約団体数
および事故件数の推移

